

# 西村クリニック便り 第128号

発行元 西村クリニック  
四條畷市楠公1-14-6  
072-862-3001



今年は6月下旬に早くも梅雨が明け以降連日暑い日が続いております。今年は例年にも増して太平洋高気圧の勢いが強く、10年に一度の猛暑と言われております。さてこの夏の太平洋高気圧の居座る太平洋ですがこの太平洋という文字を見てあれっと思うことがあります。つまりアメリカとヨーロッパの間に横たわっているのが大西洋ですが、太平洋は「太」と書き大西洋は「大」と書く所です。この二つの言葉の由来ですが、昔マゼランが太平洋を航海した時嵐に遭遇することもなく横断でき、波も風もなく穏やかな海というラテン語で平穏な海を意味する「Mare Pacificum」と命名しましたが、太平洋はその訳で平穏を意味する「泰平（太平）」に起因するという事らしいです。一方大西洋ですがヨーロッパの西にあって海に沈んだ伝説の大陸「アトランティス」を意味している「Atrantic Ocean」を訳す時適切な訳が見つからなかったのがヨーロッパの西の方にある大陸のあった海という意味で大西洋となったみたいです。さてこの太平洋ですがマゼランの命名から来る「泰平（太平）」な海の様にはいつも穏やかとは限りません。特に夏場になるとこの太平洋上で幾つもの台風が発生して日本にやって来ます。そもそも台風とは何ぞやと言いますと台風とは熱帯低気圧の発達したものでありますが、ならば温帯低気圧が発達しても台風にならないのかという疑問が湧いてきます。ここで重要なのは温帯で発生するのが温帯低気圧で熱帯で発生するのが熱帯低気圧ではないという事であり、即ち温帯低気圧とは南の暖気と北の寒気がぶつかって発生し、温帯低気圧は暖気と寒気の両方から構成されております。一方熱帯低気圧は海水が暖められて水蒸気が発生し上昇気流となり渦を形成して発生するもので、熱帯低気圧は暖気のみで構成されております。だから温帯低気圧は暖気と寒気の境界に生じる前線を伴うこともよくありますが、熱帯低気圧は前線を伴うことはありません。そしてこの熱帯低気圧の渦が発達し、風速17.2メートル以上になったものが台風ということになります。さてこれから8月、9月とまだまだ暑い日が続きますがこの暑さに加え台風が頻りにやってくる季節となります。最近の夏の特徴としましては地球温暖化の影響で経験したことの無いような猛暑が続くことに加え、ゲリラ豪雨と呼ばれる様な激しい雨が突然襲ってくるという事が挙げられると思います。更に心配なのは巨大な台風がいつやって来るかもしれないという事があります。「天災は忘れた頃にやって来る」ということわざがありますが、いつ豪雨災害が起こるかもしれないという事を常に念頭に入れ、もし何かあった時にはすぐ命を守る行動をとれるよう常日頃から準備しておくのが大切でしょう。 院長 西村 章

**8月14日（木）～17日（日）**  
**4日間お休みします**